

2025年3月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日以上

- 24302I** 技術職員(男性:57歳);演習林内の急傾斜地で足を滑らせ2mほど滑落した後、4mほどの高さから墜落し、右足脱臼骨折、骨盤骨折、右手親指骨折等の重傷を負った(休業45日)。
- 24306I** 研究員(男性:69歳);小型クリップを裸足で踏んで右足を切ったことで蜂窩織炎(細菌感染による炎症)を生じた(休業12日)。

・休業4日未満

- 24299M** 助教(男性:36歳);スマートフォンで会議を聞きながら構内を歩行中、凍った路面で2回転倒して右肩と左手首を捻挫した(休業1日)。

・不休業

- 24295F** 技術職員(女性:53歳);制御できなくなった小型ドローンを咄嗟に手で掴み、左手中指に切創を負った。ドローン収納時に使用するホルダーを適切に取り付けていなかったため、プロペラが曲がってしまっていたことが制御困難の原因であった。
- 24297F** 受託研究員(男性:34歳);クリーンベンチ内でシクロヘキサンの入ったプラスチックチューブの蓋を開けた際、ガスバーナーの種火がチューブの口に引火した。蓋を戻して消火しようとしたところ、右手に着用していたニトリルグローブにも引火して火傷を負った。
- 24301F** 研究員(男性:29歳);航空機の利用により航空性中耳炎になった。
- 24304F** B4(女性:22歳);液体エタン/液体窒素の二重構造容器の液体窒素部分からピンセットを使って部品を引き上げたところ、液体エタンに液体窒素飛沫が入り突沸した。突沸で生じた液体エタンの飛沫が目に入り、白目に炎症等を負った。保護メガネを着用していなかった。
- 24309F** 助産師(女性:27歳);一人で長机を片付ける際に手が滑り、左足に長机が落下。左足母趾を骨折した。
- 24310F** 看護補助者(女性:64歳);ホワイトボードの脚に足が引っ掛かり、転倒して左手を床についた際に左手首橈骨を骨折した。ホワイトボードが移動動線上に配置されていた。
- 24311F** B4(男性:21歳);ガラス容器のキャップを無理に開けようとしたところ、容器のくびれ部分が破損し左手に切創を負った。
- 24312F** 学術専門職員(男性:61歳);椅子から立ち上がった際に机の脚に躓いて転倒。右肘を骨折した。
- 24313F** 事務職員(男性:60歳);構内歩行中、敷石の継ぎ目に躓き転倒し、左手首・左肘・右膝を打撲した。
- 24315F** 技術職員(女性:25歳);雪にはまったスノーモービルを脱出させようとけん引した際、腰に負荷がかかり腰椎を捻挫した。
- 24316F** M2(男性:25歳);断線しかけたスマートフォンのケーブルを素手で抜き差しして感電し、右手親指と薬指を火傷した。
- 24324F** 医療技術補佐員(女性:26歳);箱に入っている薬品を廊下に屈んで検品していたところ、廊下を曲がってきた配膳車が箱に衝突。被災者はその衝撃で体勢を崩して転倒し右膝を強打した。配膳車搬送者は配膳車よりも背が低く前方が確認できない状態であった。
- 24326F** 技術職員(男性:49歳);実験室内の床や壁にケーブルを固定する作業を無理な姿勢で続けていたところ、腰痛を発症した。
- 24327F** 技術職員(男性:32歳);飼育している体長 30cm 程度のサメに水面近くで餌を与えようとしたところ、右親指付け根付近を咬まれた。
- 24329F** 看護師(女性:39歳);患者の介助のため歩行したところ、こぼした生理食塩水で濡れた床で足が滑り、右膝を脱臼した。

24332F 看護師(女性:34歳);検体の入ったホルマリン瓶の蓋を閉めようとしたところ、ホルマリンが腕に付着した。保護眼鏡や保護手袋などは着用していたが、腕は保護していなかった。

・通勤災害

24294J 技術職員(男性:59歳);夜間自宅に帰宅するため自転車で走行中、信号のない交差点に進入したところで左折してきたタクシーと接触。転倒して頸椎を捻挫した。

24300J 学術専門職員(女性:60歳);徒歩で通勤中、横断歩道の手前の誘導ブロックに躓いて転倒し、下顎と手を地面に打ち付けて前歯を折った。

24303J M2(男性:27歳);深夜に帰宅途中、信号のない交差点を渡っていたところ高速度で走行していた車両に衝突され、肩・足・腰を打撲及び捻挫した。

24305J 事務職員(女性:59歳);徒歩での通勤時に路上の凸凹に躓いて転倒し、右肘骨折等の負傷をした(休業7日)。

24307J 特任専門職員(女性:46歳);夜間の帰宅時に道路の障害物に右足を取られ、転ばないように左足で踏ん張ったところ左膝骨にヒビが入っていた。

24314J 学術専門職員(女性:58歳);荷物を持ちながら小走りで移動している最中にバランスを崩して転倒し、左手首を骨折した(休業10日)。

24319J 学術専門職員(男性:64歳);自家用車で通勤中、スリップして対向車線を逸脱してきた車両と衝突し、運転席側フロントヤリアドアなどを損傷した。降雪が続き路面には積雪がある状態であった。

24320J 特任専門職員(女性:56歳);電車に乗りこもうとして閉まりかけたドアに挟まり転倒し、大腿骨を骨折した(休業4週)。

24321J 事務職員(女性:53歳);駅ホームで急いで電車に乗ろうとして躓いて転倒し、左手・顎・両膝を強打した。

24330J 事務職員(女性:48歳);狭い道路を歩行中に駐車車両と対向車を避けようとしたところ、歩道の凹凸により左足首を捻挫して捻挫した。

24331J 看護師(女性:38歳);駅の階段を下る際に踏み外して3段ほど転落。右足踵を打撲した。

24333J 技能補佐員(女性:58歳);自家用車で帰宅時、赤信号で停車中に後方を走行する車両に衝突された。みぞれが降っており、シャーベット状に積雪していた。

・ヒヤリハット

24318H 技術職員(男性:58歳);水素ガスバーナー配管内の残ガスを燃焼処理していたところ、熱気で熱感知器が発報した。通常は1つのところ同時に2つの水素ガスバーナーの残ガス処理をしていた。

・人的被害なし、設備災害でない小火あり

24285Nf オートクレーブの電源プラグを抜こうとした際にプラグとコンセントの間に金属製ワイヤーが入り込み、短絡してトラッキング火災が発生した。ワイヤーはオートクレーブで掃除に使用していた道具であった。

24298Nf 派遣職員(男性:30歳)・研究員(男性:40歳);Xe ランプの暖機運転中に、光の照射範囲内にあったキムタオルから出火した。アルミホイルでランプ出射口をカバーし、光が外部に漏れない状態で暖機運転を行う手順を怠っていた。

24308Nf オートクレーブの電源が入らないため確認したところ、コンセントおよび変換アダプターの焦げ、壁コンセント穴とアダプターの間での溶解癒着が確認された(火災認定)。容量超過となっていた可能性がある。

24322Nf ドライヤーの電源コード根本付近で火花が散り、焦げた(火災認定)。

24323Nf コンセントボックスを修理しようとしたところ、ボックス内のコンセント表面に焦げが発見された(火災認定)。

・ 人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

24296Nd 技術職員(男性:32歳);運転操作を誤ってスノーモービルを小屋に衝突させてしまい、荷台を損傷させた。

24317Nd 助教(女性:38歳);レンタカーで追越車線を走行中、走行車線を走行中の車両が方向指示器等の合図なく追越車線へ進入してきたため接触事故を起こした。

24325Nd 技術職員(男性:28歳);公用車で左へアピンカーブを登る際、切り返そうとハンドルを右に切ったところカーブ内側の木に衝突した。

以上 教養学部等環境安全管理室